

流氷

北海道も厳しい冬になり寒さが一段と身に凍みる季節になりました。北海道という土地に住んでいても「流氷」をまじかに見たことのない方は沢山いますし、春夏秋冬は人間や生き物にとって、とても大事な現象なのです。そこで、今回は北海道ならではの、冬にしかお目にかかれない「流氷」の特集です。



網走沿岸の流氷(2008年)

流氷が来ることにより、自然界や住民にとって良い事と悪い事が起こります。

流氷の悪いところ・良いところ

悪いところ

- 1 流氷が来ると漁が出来なくなり、船等が流氷で壊される場合があるため、船を陸に上げ海明けを待ちます。
- 2 流氷で漁の網やホタテのカゴを壊してしまう場合があります。漁師にとっては大敵なのです。サロマ湖では流氷の侵入を防ぐために湖の入り口に特殊なネットを張りホタテやカキの養殖施設などを守っています。
- 3 流氷で船が動けなくなったり、遭難することもあります。

良いところ

- 1 海の雑草が多くなると、昆布等は育ちにくくなります。しかし、オホーツク海では流氷が雑草を削り取ってくれるのです。
- 2 流氷は波をしずめ海岸線を守ってくれます。強い風が吹くと濃い塩分を含んだ波しぶきが飛んできて草や木を枯れさせ車の錆の原因になってしまうのです。流氷が海面を覆ってくれるので波しぶきは発生しないのです。流氷は自然の浮き防波堤なのです。
- 3 流氷の底部には沢山の植物プランクトンがいます。これらを食べる動物プランクトンが集まってきます。これらを狙って魚がやってきます。カニやホタテもプランクトンを食べて育ちます。流氷はオホーツク海全体を豊かな海にしているのです。

流氷には人類にとっていろんな重要性や神秘的力があるのです。そんな流氷を身近に感じ触れることのできる施設を紹介しますので是非、足を運んで観て触れて体感してみたいかがでしょうか★



ハイビジョンシアター(オホーツク流氷館)



展望ラウンジ(オホーツクタワー)

一言で「流氷」と言っても実は奥深いものなのです。流氷は主にシベリア大陸沿岸やアムール川の河口で生まれます。一般的に海に浮いた氷を「流氷」と呼んでいますが、川や湖で凍った「河川氷」、雪が氷河となって海に流れ込む「氷山」に対して、海水が凍って出来た氷は「海氷」と呼ばれています。実は、正確に言うとオホーツク海の流氷のほとんどは、この「海氷」になります。

シベリア大陸から吹き込む厳しい寒気により海の熱がどんどん奪われ、海水が一1.8度まで冷えると海面近くに小さな針や板状の氷の結晶が生まれます。これを氷晶(ひょうしょう)と言います。これが少しずつ増えて、やがて海面を覆います。それが互いにぶつかり合ったり、結合したりすることにより蓮の葉状の氷から、やがて大きな氷の塊、氷塊に成長します。11月末に誕生した流氷は強い北西の季節風と東カラフト海流に乗って、さらに成長を続けながら、ゆっくりとオホーツク海を南下します。それが1月下旬～2月上旬に北海道のオホーツク沿岸へと辿り着きます。

この流氷に含まれる塩分は0.5%前後で、海水の1/6以下です。氷の結晶が次々にくっつき合って大きくなる流氷ですが、氷の隙間に海水が取り残されたようになります。その様子は顕微鏡で流氷を見るとよくわかります。



地球観測衛星から見た冬のオホーツク海(オホーツクタワーの展示より)

ところで、皆さんは海面を覆っている流氷に乗っても安全だと思いますか？

流氷には前記のように塩分が混ざっています。塩分が混ざった氷の内部は空洞が出来てスカスカなのですぐに割れてしまいます。流氷に乗っても安全であると言われている氷の厚さは30cm以上で、真水で出来た氷の厚さ5cmと同じくらいの強度です。厚い流氷でも危険なので絶対に乗らないようにしてくださいね。(豆知識でした♪)

オホーツク海は流氷が来ると漁業はいったんお休みになります。しかし、流氷の下には大変豊富な種類のプランクトンが活動しています。皆さんも聞いたことのあるクリオネもその一つです。プランクトンを追って寒流系の魚たちも大挙して押し寄せているのです。オホーツク海の豊富な魚介類の資源は自然自らが守っているといえるのです。



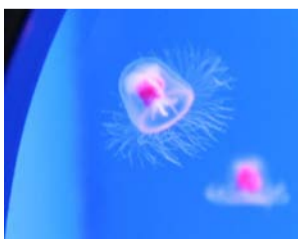
流氷の天使「クリオネ」

ここでまた豆知識・・・「流氷の天使」と呼ばれるクリオネは何の仲間かご存知ですか？実は「巻貝」の仲間なのです。和名を「ハダカカメガイ」と言います。

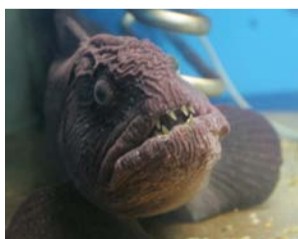
多くの貝は成長と共に貝も成長をし、体をその中に入れて生活するのですが、クリオネは生ま

れてから2週間位で殻を脱ぎ捨ててしまうそうです。クリオネの餌は自分たちと同じ巻貝仲間の「ミジンウキマイマイ」で、その食べ方はとても早く、近くに泳いできた「ミジンウキマイマイ」を頭の中に隠している触手で捕まえて、食べてしまうのです。

餌を食べた後のクリオネは少し色が変わるんですよ。是非、本物を見て確かめてみてください★



ベニクラゲ(オホーツク流氷館)



オオカミウオ(オホーツクタワー)

